

●フレーム

フレーム設計においては、初心者からベテランまでの幅広いライダーが日常生活で気軽に使え、時にはツーリングを、時にはFUNライディングを味わえることを目指しました。

車体サイズやディメンション、操縦安定性、ライディングポジションなど、走るための基本機能を満足させながら燃料タンクの低重心化を図ることで、車体の取り回しなどを非常に扱いやすいものとしています。

コンパクトなエンジンを支えるフレームは、徹底的なCAE解析を行うことでしなやかさと剛性感を高次元で融合させた丸型鋼管のダイヤモンド形式としました。

荷物積載時を含めた操作性やFUNライディングにも十分な剛性を確保しながら、鋼管のもつ靱性を生かしたフレームワークは、刻々と変化する路面へレスポンス良く柔軟に反応し、優れた操縦性と安定感を両立しながら、心地の良い適度な振動をライダーに伝えるなど、上質な走り味を提供しています。

大容量のラゲッジスペースや、低重心化につながるシート下の燃料タンクなどを考慮しながら、かつてないレベルでの艤装レイアウトの自由度を確保するため、通常の二輪車より低い位置にメインパイプを通しました。ダイヤモンド式のフレームは、クランクケース下側に回り込むロアパイプがないため軽量化に寄与しています。

また、エンジンの鼓動感を心地良くライダーに伝えるため、エンジンハンガーのスパンや締結部のカラー長などを吟味しました。

